

# スタートにあたって

**初心を忘れず前進!!**



たまだ てるよし  
**玉田 輝義**

4期目がスタートします。これまでの3期12年で実現できなかったことができなかつたことを吟味して、初心を忘れずに地域の諸課題に全力で取り組んでいく覚悟です。

人口減少の中でこれまで実施してきた県政報告会を引続き開き、現場視点で特に医療・介護子育て環境、働く場の確保等安心して暮らせる地域づくりに取り組む「住みたい大分県・豊後大野市づくり」に取組みます。

**地域に元気を!!**



おじま やすひこ  
**尾島 保彦**

周辺地域では、過疎少子高齢化が一向に進み、小規模集落は増え続けています。集落機能の維持や通院・買物等の交通対策空家・荒廃農地など問題は深刻化しています。また災害への備え、基幹作業である農林水産業の振興も重要であり、地域・行政・支援団体などによる協働の地域づくりに取り組めます。人

材育成も大切で、貧困対策等、教育を社会で支える仕組みづくりにも力を注いでいきます。

**本格的な議会活動に!!**



こじま ひでゆき  
**小嶋 秀行**

3期目がスタートしました。今期初年は、議会選出の監査委員を拝命しました。既に奮闘中ですが、大分県行政全ての事務事業内容が手元に来ます。監査の役割をしっかりと果たしたいと思えます。

一方、「地方分権改革」がいつの間にか「地方創生」という表現に変えられました。一部では、国の「めがね」に合う事業で予算獲得という、中央集権に拠る地方自治がいまだに続きます。地方自治推進のため、初心を忘れず今期も頑張ります。

**これから**

**「教育・福祉・労働」**



はらだ たかし  
**原田 孝司**

今春、御支援をいただき3度目の議席をいただきました。現在、大分県では、人口減少や防災対策など喫緊の課題が山

積んでいます。これからも私の議員活動の理念である「教育・福祉・労働」を基調に、安心して暮らせる社会の実現をめざして仲間の議員とともに取り組んでいきます。

また、活動内容を随時、HPで報告していきますので、ぜひ御覧ください。

現場・対話・実践  
そして挑戦

**現場・対話・実践  
そして挑戦**



ふじ た まさみち  
**藤田 正道**

現場主義、対話主義、実践主義。1期目から掲げているスローガンです。2期8年の間、様々な現場を回り、そこで汗する方々の声を聴き、共に働いてきました。その中で実感したことは、地域の活力は制度や補助金ではなく、新しいことに挑戦する「人」が生み出しているということ。そんな一歩踏み出すとすると人々の背中を押し、伴走し、動きやすい環境をつくっていく。3期目の私の挑戦です。

**笑顔溢れる地域づくり**



もりなが のぶゆき  
**守永 信幸**

大分県のどこに暮らしても、家族の笑顔が溢れる大分県を創ります。若者の雇用の創出が欠かせませんが、働く場として農

林水産業を再構築し、地域で暮らす若者を増やし、地域コミュニティの復活と地域の暮らしを支える施設（病院、学校）の維持が可能な社会とすることも大切です。

更に、地域の大人たちが子育てに関わりを持ち、子どもたちが心豊かに育まれる社会をめざします。

課題解決に全力で!!

**課題解決に全力で!!**



ひの たけお  
**羽野 武男**

2期目がスタートし、会派広報紙（本紙）を担当することになりました。わかりやすい紙面づくりに努めます。

肉付け予算も決定し、県政も本格化します。人口減少と高齢化が進む中、どうやって持続可能な地域にしていくのか難しい課題に挑戦していかなければなりません。

今期も地域を回り地域の声を聴く中で、課題解決に向けてスピーディーな対応に努めてまいります。

**会派・議会の  
活性化へ頑張ります**



きだ のぼる  
**木田 昇**

県政2期目の参画となり、会派の幹事長の任を務めること

なりました。

今期前半は、ラグビーW杯や東京オリ・パラの開催など、大分の魅力・活力をさらに発展させる好機です。地方創生や加速化する人口減少には、新たな視点からの政策提案が求められており、調査研究に励んでいきたいと思えます。

県民クラブの活動充実化を、県議会の活性化へとつなげられるよう、今期も全力で頑張ります。

**三鷹市議から  
大分県議へ**



うの ひでき  
**浦野 英樹**

4月の県議選で初当選し、県民クラブの一員として大分県議としての活動をスタートしました。私は、8年前に東京の三鷹市で市議会議員を1期務めました。市議の経験のある先輩議員は多いですが、県外の市議経験がある県議はかなり珍しいのではないかと思います。Uターン・イターンの促進は県政の大きな課題ですが、私自身のUターン経験を活かし大分の素晴らしさを広めてゆきたいと思えます。

